

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) JR北海道・留萌線（留萌～増毛）の現況	町内会でアンケートをとったがやむを得ないとの内容だった。廃線と決まってから乗っている観光客が多かった。	—
	お客さんが少なく企業の論理からすると廃線は仕方ない。ここは元々沿岸バスが走っている。JRの傷が少ないうちに廃線するのが良いのではないか。	市民や市議会の意見を参考に、今年度中に市の判断を決定し、JR北海道に伝えることとしている。
	住民にとっては代替交通があれば良い。将来的には留萌深川間についても考えなければならないので、代替交通に関しては先手を打つくらいでなければならない。	この地域に合う効率的な公共交通手段については、関係者などの意見を聞きながら、検討していきたいと考えている。
	廃止はやむを得ない。留萌から増毛までは車を使っており、荷物の運搬にもトラック便を使っている。	—
	私としては個人的に留萌増毛線を利用しており、廃線には反対である。	—
	留萌深川間の廃止の可能性とその時の取り組みは。	この区間も赤字路線であることはJR北海道からも聞いているが、資料説明でもふれたとおり、現時点では留萌～深川間の廃止の話はない。乗客数を増やすことが現実的には求められると考える。
	冬はJRの方が安心して乗れる。	—
	増毛町民は廃止についてどう思っているのか。代替のバスを充実させることもありではないか。	増毛町民の考えは、増毛町がアンケートの実施などで把握に努められており、町としての対応策も決定するものと考え
	1～2年廃止を先延ばししたとしても、代替策を考えた方が現実的である。	留萌増毛間にはバス路線があることから、これを踏まえた留萌市民に必要な公共交通が何かを考え、今年度中に市の判断を決定する。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) J R北海道・留萌線（留萌～増毛）の現況	そもそもこの配布資料が廃止ありきの資料ではないか。	H27.7末にJ R北海道として廃止の方向性を決めた。その後、地域住民の説明用として作成された資料を使わせていただいた。今までは地域住民の理解を得てから廃止議論する時代もあった。
	線路などの跡地の取扱いはどうなるのか。旧北海道合板跡地のように負の財産とはなってほしくない。	仮に廃線提案を受け入れる場合には、跡地問題等について、十分な協議が必要と考える。
	行政から補助金を出して廃止を伸ばしているケースもある。	補助金は、留萌市民の税金の活用方法としての必要性とその効果などを検討し、支出の妥当性を判断すべきと考えている。
	今、増毛町では廃線特需となっている。今までもこれぐらい乗客があれば、廃線にはならなかったと思う。	—
	留萌深川間の廃線が決まる時にも、廃線ありきでJ R北海道から話が下りてくる流れなのか。	留萌深川間については、J R北海道からの考えが示されていない。
	留萌市民の立場で言うと、留萌増毛間の廃止はまだ他人事のように感じる。	—
	汽車に積むもの、車両編成などでJ R北海道側の企業努力が感じられない。新幹線にばかり金をかけている気がする。	—
	J R北海道に対して市から補助金を出しているのか。	市からは出していない。
	「想いはわかるが、無理」という市長の結論が出ているのであれば、意見交換してもどうしようもないのではないか。	市政懇談会等での市民の意見や議会の意見を参考に、今年度中に市の判断を決定し、J R北海道に伝えることとしている。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) JR北海道・留萌線（留萌～増毛）の現況	今後どうするのかという意見をもらいたいのか、やむを得ないという意見がほしいのか、どちらなのか。結論としては、廃線はやむを得ないと思う。その後どうするかは、色々な意見があると思う。	市が判断する上で、ご意見を参考とさせていただく。
	市議会のアンケートも出したが、増毛町の見晴町（中歌）の崖がいつも崩れており、落雪もある状況で走るとするのは、安全上心配があり、本当はあったほうがいいが、今となってはバスのほうが良いと思っており、市長の話を聞いて、その通りと思う。	—
	廃線の後の交通事情がどうなるのか聞いてみたい。	現状では、廃線提案を市として受け入れるかを判断していない。
	崖崩れ、雪による脱線の安全対策と利用客がいらないということは、収入がないということで、廃線やむを得ない。バスを走らせてほしいが、バスも収支決算が成り立たないことが将来出てくると思う。公共の乗り物を皆が使っていける環境を作ることが大事。	—
	羽幌線が無くなったときは、沿岸バスにお金が出ていたと思うが、今回もそういう話をJRがしているのだろうか。沿岸バスの営業がどうなるのか。	沿岸バスの運行路線のうち、市が必要と考える路線の赤字について、関係町村と連携し、補助金を支出している。なお、市の補助金は、羽幌線廃止時に国からの交付金を原資として設置した基金を財源としている。
	市長の話の通りと思うが、留萌線はこの地域の大きなインフラであると思っているので、これがなくなることは、大きなマイナスと思う。	—
	増毛町の子供達が、高校も無くなり、留萌線も無くなり、この地域から出ようと話しているのを聞いた。子供達が留萌の地域を見放しているのではないかと思い、大人として難しい話であると思っている	—

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) J R北海道・留萌線（留萌～増毛）の現況	誰が考えても将来は、留萌深川間も無くなると思う。	—
	廃線後の跡地の有効利用を考えていくことが必要。	現状では、廃線提案を市として受け入れるかを判断していない。受け入れる判断をした場合には、有効利用の検討は必要になると考える。
	新聞では留萌深川間も話がある中で、J Rの話で留萌増毛間の廃止を決定していいのか。存続で粘るべきではないか。	J R北海道は乗降客数や今後の安全対策に必要な経費を考え、留萌増毛間のみの廃線を提案したものとする。留萌深川間については、J R北海道から何らの提案も受けてはいないため、市としても、留萌増毛間に限って必要性を判断すべきと考える。
	今回の廃止案が突然出たように次の留萌深川間の廃止も突然出ることがあるので今から努力すべき。	安定的な路線の運行には、乗客数の確保が必要と考えており、バス路線を含め、公共交通機関の利用状況により判断されるものとする。
	留萌増毛間は利用者でやむを得ないと思うが、留萌深川間が次になるのでは。その時に、赤字や利用者が少ないからという理由だけでは市民への説明は無理ではないか。公共交通が無くなるのは地域の足が無くなるのと地域の衰退を意味するので利用者が少ないから廃止ではない。	J R北海道からは、今回の留萌増毛間の廃止提案は、赤字や利用者が少ないという理由だけではなく、路線バスが並行して運行し、市立病院への通院や高校の通学に利用されていることも踏まえて、廃止を提案したものと説明を受けている。バス・鉄道など、それぞれが異なる特性を持っており、特性を生かした公共交通の有り方を検討すべきと考える。
	留萌深川間が次に出てきたときどう対応するか考えてやっていくべき。	留萌深川間については、J R北海道から何らの提案も受けてはいないため、廃線を前提とした議論はしていないが、留萌深川間の利用状況等について、今後も情報収集に努める。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) JR北海道・留萌線（留萌～増毛）の現況	線路廃止の代替えはバスになるが、バスは営業主体だから乗客が減ると続けられない。そうなる前に財政的支援ができるのかも問題だ。	バス路線は、留萌振興局を事務局とする留萌地域生活交通確保対策協議会で、毎年、国・北海道・関係市町村からの補助金を活用した効率的な運行について検討しており、留萌市では、平成27年度は豊富留萌線や留萌峠下線の運行に補助している。
	JRから路線廃止の提案がされる前に市や議会でいつまで存続できるかの話はできないものか。	JR北海道からは、留萌深川間については、何らの提案も受けていない状況であり、JRから事前にそのような情報提供を受けることは難しいと考えている。
	議会でアンケートを回しているが、今からアンケートでは遅いのではないか。	議会では、市民の皆さまからいただいたアンケート調査の結果を参考にし、早急に分析した上で12月の定例会において方向性を示したいと考えている。
	議会で行っている設問に、「JRは1便20人以下の利用者になると減便になることを知っていますか」というものがある。JRで出されているので近い将来、留萌深川間が減便になる可能性は高いと思う。	—
	以前は県庁所在地や支庁・振興局所在地の線は無くさないというのがあったが今はどうなんだろうか。方針が変わると留萌も危ない。行政や市民の力で残すことができるのか、早め早めに手を打っておかないとダメだと思う。	留萌深川間については、JR北海道から何らの提案も受けてはいないため、廃線を前提とした議論はしていないが、留萌深川間の利用状況について、今後も情報収集に努める。
	やはり人口の問題だと思う。子供たちも減ってくるので学生だけでなく後の対策も考える必要がある。	人口減少を踏まえた公共交通のあり方については、関係する協議会等で、議論していく必要があると考える。
	JRの赤字を市で負担できないかについても検討の課題として考えていかなければならないと思う。	補助金は、留萌市民の税金の活用方法としての必要性とその効果などを検討し、支出の妥当性を判断すべきと考えている。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) JR北海道・留萌線（留萌～増毛）の現況	通学路などの足を確保するため、地方では大きな負担をしている自治体もある。そういうことを含めた議論が必要ではないか。	補助金は、留萌市民の税金の活用方法としての必要性とその効果などを検討し、支出の妥当性を判断すべきと考えている。
	JRがあるうちにバス会社と折衝するのと無くなってからするのではバス会社の対応も変わるので早いうちにすべきではないか。	なくなる前提の話は行政側としてはできないと考えている。
	公共交通のあり方について、議会がその中間の立場でアンケートの結果を基に意見聴取の場を設けていくことができると思う。	11月11日から3日間、市内6か所のコミセンで開催した「市民と議会の意見交換会」においてアンケート結果を報告し、参加者の皆さまからご意見をお聞きした。
	高齢利用者の話をすると、JRの乗り換え階段が大変という高齢者が多いため、バスを利用している人が多い。	—
	留萌増毛間だと駅の近くにバス停があり、それが不便を感じない要因なのでは。	市が判断する上で、ご意見を参考とさせていただきたい。
	ふるさと納税で増毛は3億円程度と多い。廃線を危惧する人たちからの応援の分もあると聞いた。また、観光面を危惧する声も上がっている。留萌増毛間でJRから見られる景色も素晴らしく、ビューポイント等を皆が行けるように残しておく方法もあったら良いとの意見もあった。	—
	マイナス面だけを考えない。幸福駅や愛国駅などのように観光面では線路があるだけが必要なことではない。	市が判断する上で、ご意見を参考とさせていただきたい。
	もう1年廃止が伸びればふるさと納税や観光客の入込も伸びるとの見方もあるし、増毛町民からすると少しでも伸びてほしいと思う。	—

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) J R 北海道・留萌線（留萌～増毛）の現況	鉄道が無くなると過疎化のイメージも出てくる。最終的に行政として廃線を遅らせることもできるのかとなるが、167百万円を増毛なり留萌なりで出さなければならないとなると他を削ることになるのでそれを含めた議論が必要になる。	補助金は、留萌市民の税金の活用方法としての必要性とその効果などを検討し、支出の妥当性を判断すべきと考えている。
	現実的に赤字比率が高く、それを1、2年で何とかできるのか。実際は不可能ではないか。	市が判断する上で、ご意見を参考とさせていただきたい。
	船場の踏切を移動した際に、高架（アンダーパス）にするとかいう議論があり、その時は鉄道はそのまま運行するということが前提だった。それを踏切にしたということは留萌市もJ Rの廃線を容認したと思うのではないか。	高架（アンダーパス）の計画は現在も残っているが、国道拡幅事業の完了を見込み2車線での平面交差としている。平面交差による踏切移設（港東踏切）は、今回の廃線提案が出る以前に協議済みで施工したものであり、この移設により廃線を容認しているものではない。
	増毛の人も夏だけでもと言っているが、増毛は観光部分で増えていると思うので、増毛としてはつらいのでは。沿岸バスがあるからいいのではというが、代替をきちんと考えなければならないのではないか。	市が判断する上で、ご意見を参考とさせていただきたい。
	J Rが無くなっても増毛が孤立するという状況ではないので、J Rの支援を受けて代替バスを増やすなど切り替えることを考えるべきでは。	市が判断する上で、ご意見を参考とさせていただきたい。
	J Rと交渉して代替交通を模索した方がいい。	市が判断する上で、ご意見を参考とさせていただきたい。
	日高の方は学生が多いが、こっちは状況が違うし、設備をきちっとやるというのは100%無理。安全には走れない。	—

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) J R 北海道・留萌線（留萌～増毛）の現況	なくなるのはさみしいが、違う方向から考えていかなければならないのではないかな。	市が判断する上で、ご意見を参考とさせていただきたい。
	今度は留萌深川間でないか。早目に手を打っておかなければならないのではないかな。	留萌深川間については、J R 北海道から何らの提案も受けてはいないため、廃線を前提とした議論はしていないが、留萌深川間の利用状況等について、今後も情報収集に努める。
	まだ留萌深川間の話は出ていないが、次に出てくるのではないかな。最終的に赤字路線は廃止になるのではないかな。	留萌深川間については、J R 北海道から何らの提案も受けてはいないため、廃線を前提とした議論はしていないが、留萌深川間の利用状況等について、今後も情報収集に努める。
	乗らないから仕方がないと思う。	—
	乗客が増えるなら別だが、増えるとは思えない。私は増毛町出身で思い出が多いが、やむを得ないと思う。	—
	廃止は致し方ない。国営でなく民営なので仕方がないと思うが、簡単に来年で廃線になると商業的な感覚で切られるため感情的になる。来年から廃止をするにしても、段階を踏んで、夏のお座敷列車とか観光時期に何本か走らせるなどが必要だった。	—
	今日の懇談会に出して終わると了解事項になってしまう。そういうやり方はダメだと思う。	—
	5年後に高規格道路が完成する。一番、聞きたいのは留萌深川間がどうなるのか。このままでは廃線になるのではないかな。ならないためには、どうしたらよいのか。J R が無くなった地域の代替交通など将来展望の話なら分かるが。留萌市民の関心は留萌深川間なので、その情報を提供してほしい。	留萌深川間については、J R 北海道から何らの提案も受けてはいないため、廃線を前提とした議論はしていないが、留萌深川間の利用状況について、今後も情報収集に努める。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) JR北海道・留萌線（留萌～増毛）の現況	今の利用状況で、廃止はやむを得ない。	—
	増毛線が無くなると、雪を投げたりして崖が崩れてしまう危険がある。何らかの崩れないような整備が必要と思う。	仮に廃線提案を受け入れる場合には、急傾斜地を管理などについて、協議が必要になると考える。
	今までJRがよくやってくれた。近年雪崩やがけ崩れが発生している、中歌や元阿分付近は、冬は危険だ。	—
	企業としては収益を上げなければならず、増毛の人のことを考えると言いづらいがやむを得ない。鉄道を使う貨物があれば廃止は無いと思うが、人の利用だけでは廃止の流れは止められない。	—
	羽幌線が無くなってさびれていくのを見ると、増毛もそうなるのではないかと思うと少しつらい。跡地利用も難しいものがある。	—
	議会の方でもアンケートをしているが、やむを得ないと書くしかない。	—
	今は無いとのことだが、数年後には高規格道路も完成するので留萌深川間もあぶないのではないか。行政も今から観光客を増やすことを工夫した方が良くのではないか。	観光客の増加も必要だが、安定的な乗客数の確保には、地元住民の利用が必要と考える。バス路線を含め、持続可能な交通体系については、関係する協議会等で議論していきたい。
	高齢化と人口減少で、バスも無くなると交通弱者は住めなくなる。バスの利便性を上げ、高齢者が利用しやすい環境を考えてもらいたい。（例として、バス停でなくても止まってもらえるような仕組み等）	バス路線については、市としては住民を交えた協議会で検討しており、今後も持続できる交通体系のあり方について話し合っていきたい。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) J R 北海道・留萌線（留萌～増毛）の現況	増毛の不安をなくすためにも、沿岸バスにも住民が利用しやすいダイヤになるように工夫してもらいたい。	—
	夏季の観光シーズンになると、駅前に観光客など多くの人がいる。夏季間だけでも留萌増毛間を運行し、冬期間は減便若しくは運休できないのか。	夏季だけであっても、橋や法面などの維持管理、安全対策が求められるため、冬期間の減便や運休をしても、巨額な安全対策費用が必要になると考えられる。
	留萌増毛間が廃止になった場合、留萌駅に駅員は残るのか、無人駅になるのか。	J R 北海道からは、無人化の提案は受けていない。
	留萌深川間は今後、多くの人が利用して長期運行することを要望する。	—
	J R 北海道からの現況を受け止めるだけではなく、簡単に引き下がるべきではない。	—
	全国の事例にあったが、廃線が決定後、多くの鉄道ファンが乗車し利用者が増えた結果、廃線が1年延長されたと聞いている。	—
	現在のJ R の体制では、留萌増毛間の保線区自体が機能していないという話を聞いた。そのため、降雨による山崩れ、降雪による雪崩により運休することが多くなったのではないのか。	J R 北海道としては可能な安全対策を行ってきたと考えるが、抜本的な安全対策には数十億円がかかると試算されている。
	留萌増毛間の運賃が安いので、なかなか収益が上がらないのではないのか。	運賃は、一定の基準の中で決定されていると考えている。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 留萌市の人口ビジョン	人口減少を食い止める策は。	子どもを産んでもらうため親の負担を減らすこと、留萌に来てもらうよう交流人口を増やすこと、健康になってもらい元気な老人を増やすことと考えている。国全体が減少傾向にある中で、減少幅をいかに少なくしてくかという策である。
	市の人口減少が50年続いており、その間行政は何をしたのか。	人口減少の要因はその時代ごとに様々ある。例えば炭鉱閉山、ニシン漁、省庁再編。行政と民間の役割がそれぞれあると思う。行政としてはある意味公共事業にお金をかけて建設業を支えてきたということも言える。
	地方創生でお金がばらまかれている中で、シカの食害がひどいので他地域と連携して、ただ駆除するのではなく、例えば牧場のようなもので育て養い、肉加工・販売・ブランド化・雇用創出となる事業を地方創生事業として組み立てられないか。	基本的には、ご意見の通り必要性もあるものと考えるところであるが、当市でシカ牧場を開設するためには、用地の課題整理などもあり、すぐには解決できない状況であるので、今後とも研究をして行きたいと思う。
	若い人が入ってきたり戻ってこない人口減少策として始まらない。	大学がない中で、進学で出て行っても戻ってくる仕組みを考える必要がある。例えばこの地域には林業があり、木を燃料として付加価値を高め、その燃料を燃やす施設で新規就農に結びつく葉物栽培や花卉栽培という取り組みを現在進めている。
	三泊ゴルフ場を活用して、羊やシカを育てられないか。潮風にあたった草を食べて育った肉はミネラルが豊かで美味しいということも聞く。石狩にある海見える丘にセカンドハウスが建っているが、留萌の千望台に上る途中の土地でそのような事業展開ができないものか。	市内における施設の場所としては適地と考えるが、施設整備や関係者の理解を得ることから始めなければならないこともあり、時間が必要となるものとする。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 留萌市の人口ビジョン	市は婚活のイベントに努力してほしい。	現時点では、婚活イベントの開催は考えていない。 各種イベントを開催している実行委員会においてアトラクションのひとつとして取り組んでいただきたい。
	お年寄りが引っ越していくので、市は、具体的にお年寄りが残っていける施策を検討すること。	地域医療の確保、住みやすいまちづくりに取り組んでいく。
	中国・台湾・韓国などのサンマ漁の影響で、根室・釧路の人口が減っていくと思う。留萌もニシンが無くなって減っていったので、気になっており、全道的に考えることではないか。	—
	今日の新聞に、苫前町で子供が生まれたら手当・お金を出していたので、市も出すのはどうか。人口増の良いアイデアを出してほしい。	出産祝金等の市独自事業は実施していないが、「留萌市子ども・子育て支援事業計画」に基づいた子育て支援を充実させていく。
	まだ市民全体に切羽詰まった気持ちが無いと思う。	—
	街を見て分かるとおり、車があるのが生協とホームック。人が減っているのは間違いないことで、それをどうするかというのはわからないが、高齢者が多くなってきている。	—
	働く場が少ないから若い人が出て行ってしまう。	—
	若い人をどう引き留めていくかということになるが、仕事がないのが現状。	—

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 留萌市の人口ビジョン	時代の流れでどうしようもないことか。	—
	高校を統合せず外部から生徒を呼び込むなどしなければいけなかった。高校が2つあれば、先生も必要となってくるため、長い目で見れば人口増になったはずである。そういった歯止めをしていかないと減ってしまう。自衛隊にしても振興局にしても開発にしても歯止めをしていかなければいけない。 苫前には札幌から来た方の下宿先があるため、今は先生もいて、経済面にもつながっていくことになっているのでは。	人口減少の抑制に向け、雇用の場の創出、子育てしやすいマチづくりなど、総合戦略に取り組んでいく。
	雇用の場が少なくなっている。	—
	産婦人科や小児科の医師が不足しており、2人目、3人目を作ることに不安を感じる。	小児科は、常勤医師2名体制となっており、医師不足の体制とはなっていない。 産婦人科については常に1名の出張医体制となっており、原則正常分娩のみの受入となっているが、今後、医師確保に努めていきたい。
	若い人の収入が少ないことも、少子化の大きな原因。	—
	若い夫婦が、少子化対策として何を望んでいるか直に聞いた方が、効果的な施策が作れるのではないか。	子ども、子育て支援計画策定時などアンケート調査などを実施している。 総合戦略の中で、子育て支援策に新たに取り組むこととしている。
	仕事があれば留萌に残るが、仕事が無いから留萌から出ていく。国道が3路線通っている市町村では、企業を誘致し、仕事はある。留萌の場合、それが該当していない。	—

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 留萌市の人口ビジョン	高校を卒業した若者は、仕事が無いから留萌から出ていく。企業を誘致し、留萌に若者が残るような環境を作って頂きたい。	市では、企業の立地を促進するため、市内に事業所を新設、増設又は移設する者に対し、留萌市企業振興促進条例に基づいて、助成を行っており、今後も市外企業からの立地照会などがあれば、情報を提供し積極的な誘致をしていきたいと考えている。 また、市内での開業などに対する支援として、るもい元氣チャレンジ助成も実施している。
	市役所の退職者がみんな留萌から出て行く。	—
(3) 留萌市中期財政計画	推計条件にプールは夏季のみと記載があるが、健全化計画が始まる時の約束として、健全化計画終了後にはプールは全面開館に戻すという話だったはずで、約束と違う。	話としては受け止める。 ただ、中期財政計画を策定する過程で、やはり温水プールの全面再開は難しいという話である。
	市立病院への繰出しは中期財政計画の中で合計いくらになるのか。	推計として1年で9億円、それを5年間続けて繰出していくという推計である。
	平成28年度から平成32年度の人口は下がっているが、11頁の歳入と歳出があまり変わっていない。	9～10頁の主な推計条件でお示した市税や地方交付税などの歳入、職員給与費や繰出金等、投資的経費などの歳出におきまして、それぞれ増減要因を反映して推計している。また、項目によっては一定額で推計している項目もあるので、ご理解いただきたいと思う。
	歳入と歳出の比率、市債や交付税などは教えてもらえるのか。	平成26年度決算や27年度予算に関する歳入・歳出の状況については、広報誌やホームページを通じて皆さんにお知らせしているので、ご理解いただきたい。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(3) 留萌市中期財政計画	広報に載っているなら良いが、65歳以上の高齢人口が増えていく中で軽自動車税は増えていくのか。	軽自動車は増えている。税額も平成28年新規取得分から上がる予定となっている。
	内容が解りづらい、理解することができない。しかし、過去の教訓を活かし、二度と同じような状況に陥らないで頂きたい。	留萌市中期財政計画（以下：中期計画）については、これまでの新・留萌市財政健全化計画（以下：健全化計画）の着実な取り組みによる改善事項や効果額などから、無事に健全化計画が終了できる見込みとなったことを踏まえつつ、今後においても、再び財政の危機的状況に陥ることのないよう、中期計画で設定した財政規律を守りながら、健全で持続可能な財政運営を進めることを目的に策定したものである。 中期計画の本文では、これまでの財政状況の推移や財政規律などを盛り込んでおり、専門用語を用いた内容が多くなっているが、広報誌やホームページなどでは、皆さんに解りやすい内容でお伝えしていきたいと考えているので、ご理解いただきたいと思う。 また、中期計画に関する「お茶の間トーク」のメニューも追加設定するので、ご活用いただきたい。
(4) 船場公園の管理運営について	船場公園の国道側に柵がないが大丈夫なのか。子供たちがボールなどを外に蹴ったら危ないと感じた。交通量も増えており、先般の認知症の老人が歩道を走ったこともあり、車止めもついていない。	ボール遊びの芝生広場の位置は国道から80m以上離れており、歩道沿いにはマウンドも形成していることから通常の使用では国道までは出ないと考えているが、様々な利用をしていく中で安全対策として必要になれば対策を検討していく。
	平成28年5月から平成28年10月までオープンで、その後、平成29年4月まではクローズとなっているが、そのクローズの間、トイレは開放しているということで、公園として誰も使わない時期に除雪や光熱水費、さらにはゴミ置きなどの処理も考えられるので、維持管理の経費がかかる。国の補助金が入っている公園なので道の駅にもなりえないが、今後どう使っていくのか。	管理棟は通年運営し、情報発信機能や料理教室の開催など様々なしかけを行いながら収入を確保するということを踏まえて、今後1月の臨時議会で公園の指定管理に関連する提案をする予定である。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(4) 船場公園の管理運営について	パークゴルフ愛好家だが、お金は今後とられるのか。	これまで同様、協力金という形で利用していただくが、今後ずっとこの形ということではない。
	公園の管理棟をつくる時にも、市政懇談会のような意見交換の場がほしかった。	体育スポーツ関係や観光関係の協会、緑化やリサイクル関係の団体など10の団体からの聞き取りを行ったうえ、補助事業で可能な範囲で計画している。
	今はサッカーでも公園が使われており、留萌のチームが強くなって有名になれるよう将来に向けて頑張してほしい。	—
	管理棟は、道の駅のような活用になると思うが、地産地消の販売コーナーを作って、米や野菜を販売できるようにしたらどうか。	指定管理者と事業内容について協議していく。
	資料には「産直市」と書いてあるが、本当にやる気があるのか。きちんとやること。	イベントや催事などは指定管理者と協議しながら行っていく。
	場所的には、もっと町場に近いニヘイの跡地が良いと思う。船場公園が無駄な投資とならないように。	旧北海道合板跡地は、港湾計画の中で緑地と位置付けられている。
	町なかと船場公園を行き来するのが不便である。駅もあり、踏切もあるので。	国道231号留萌拡幅により、踏切位置も街なかに近くなり、踏切道路幅員も拡幅になり利便性が改善されている。また、JR北海道の厚意により駅構内の通路も通行可能となっており、更にH29年度には市道船場公園通りが開通し、高砂町方面など市街地東部からのアクセスも向上する。
	船場公園で、やん衆横丁のようなことも実施したほうが良いと思う。	指定管理者と事業内容について協議していく。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(4) 船場公園の管理運営について	管理棟に調理場はなぜ作ったのか。	菜園での収穫物と連動した料理教室などを想定して作ったものであり、イベント時には中の調理場を使うことも想定している。
	見晴公園のように火は使えるのか。	芝生の上では使えないが、土系舗装部でできるようにと配置している。
	交流広場を使うとき屋根は付くのか。	イベントであればテントなどの使用になる。
	イベントでは分かるが、個人が行っても火は使えるのか。	芝生の上では使えないが、土系舗装部でできるようにと配置している。
	個人的に使わせると大変なことになるので制限はいいと思う。	—
	留萌の公園は空いている。(使われていない公園がたくさんある。)	—
	船場公園は港の風が抜けるため、寒い場所だと思う。また、今のままでは、利用される期間が短いと思うので、ドーム化をすればよいと思う。	現状の施設活用を高めていきたい。
	あそこに公園を集約するのであれば、他の公園用地を民間施設に利用する等の検討が必要。	現状の児童公園(街区公園)の再編はせず、利用状況や既存施設を考慮のうえ遊具の更新を進めていく。
	船場公園の管理棟ができたが、皆に見てもらうためにも、可能であれば、このような会議をそこで開くことができないかと思う。	市民にたくさん利用してもらえるような事業計画を考えていく。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(4) 船場公園の管理運営について	道の駅の看板を揚げないと観光客が来ない。	補助事業としての制約上、道の駅の指定はできない。
	利用を増やすためにどのようなことをするのか。	指定管理者制度を導入し、民間活力や企画力を活用し事業の推進を図っていく。
	指定管理者で運営するのは、難しいのではないかな。	休日の利活用も想定しており、市役所直営より柔軟な対応ができると考えている。
	なぜ、パークゴルフ場は9ホールしかないのか。絶対、人は集まらないと思う。他の市町村同様、18ホールに整備し、魅力あるパークゴルフ場にしてほしい。	交流人口を増加させる地区公園なので、現状の9ホールで運営する。
	近くにバス停があるわけでもなく、平日に利用する場合、不便である。市内に巡回バスを運行するなど、交通の便を良くして頂きたい。	J R北海道の厚意により駅構内の通路も通行可能となっており、活用いただきたいと考えている。交通体系については、関係する協議会等で、議論していきたいと考える。
	市内に大きい施設を建てて、果たして利用する人がいるのか疑問である。ぶるも、こさえーるを造ったが利用する人はいないのではないかな。	指定管理者制度を導入し、様々な事業を計画して利用者数を拡大していきたい
	新しいバス路線（駅前→新しい踏切を通過して船場公園→元町行き）を運行して頂きたい。（船場公園を利用する場合、現状では車でしか行くことができない。）	J R北海道の厚意により駅構内の通路も通行可能となっており、活用いただきたいと考えている。交通体系については、関係する協議会等で、議論していきたいと考える。
	船場公園にどのような施設を造るのか、市民に情報提供するのが明らかに不足していた。（2～3年前からのPR不足であった。）完成してから施設を市民に利用を促すようにしか聞こえない。	平成15年から16年にかけて公募による市民会議を開催し、いろいろな議論を重ねたうえ、現計画を策定し完成した。今後は指定管理者と協議して、様々な事業を展開していく。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(5) 今年の除排雪計画について	除雪に関して、道路が狭い。	道路除雪は決まった時間内に除雪するため道路の端（路肩）へのかき分け堆積除雪が基本となっている。道路が狭くなり、交通に支障が生じそうな路線については状況を確認のうえ、必要に応じて排雪を実施している。間口除雪については各家庭での協力をお願いする。
	高齢者が多く、雪が高くなり固くなると大変である。町内会では一番の問題である。	道路除雪は決まった時間内に除雪するため道路の端（路肩）へのかき分け堆積除雪が基本となっている。道路が狭くなり、交通に支障が生じそうな路線については状況を確認のうえ、必要に応じて排雪を実施している。間口除雪については各家庭での協力をお願いする。
	国所有の空き地には投げてはいけないといわれている。なぜだめなのか理解できない。市の除雪の方にも言ったことがあるが取り合ってもらえない。市議を通して言ってもらったこともあるが、国の所有地全体の使用のこともありここだけ良いということにならなかったようだ。空き地をうまく利用してもらいたい。ゴミだけの問題なら町内で拾う。	市道除雪のための堆積地として利用可能な個所はすでに提供していただき活用している。国有空地についても市から要望はしているが、認められていない場所が多くあるため、今後要望をしていく。
	市の委託業者の除雪が雑だ。前に市を呼んだことがあり、とってもらったことがある。前に業者を変えてくれと市の幹部に言ったことがある。以前は2回排雪していたのに今は1回あるかないかで連絡をしなければ排雪をしてくれない。	生活道路の排雪は必要に応じて年1～2回行う計画だが、道路の場所や条件、除雪で道路幅が確保されているなどの場合には、運搬排雪を行わない場合もある。現地の状況を確認し必要に応じて対応していく。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(5) 今年の除排雪計画について	運転手によって除雪のやり方が違うので、統一してほしい。 また、滑り止め用の砂が補充されていないことがあるので 回ってきたときには入れてほしい。	基本的な除雪方法についてはシーズン開始時に除雪事業者への指導を行っている。また、家の並び方や道路幅員など各道路の状況により除雪方法は異なる場合が多く、統一できない部分がある。滑り止め用の砂の補充については、パトロールなどで適時補充しているが、十分に確認できない場合もあるので不足に気が付いた時などにはご連絡ください。
	除雪のやり方によっては、路面が波を打って車がジャンプしてしまう。まずは国の土地に雪を捨てさせてもらいたいと要望を出してほしい。あの一带に融雪溝でもあればいいのだが。	市道除雪のための堆積地として利用可能な個所はすでに提供していただき活用している。国有空地についても市から要望はしているが、認められていない場所が多くあるため、今後とも要望をしていく。
	除雪の苦情に関して、業者に言うとなるとどうしても感情的になる。必ず市の統括部門にしてもらい、市から業者に指導してもらいたい。	寄せられた苦情については、内容などを確認した上で必要に応じて除雪業者への指導を行っている。
	除雪オペレーターの教育をしてほしい。人によって除雪の入り方が丁寧だったり雑だったり違うので何とかしてほしい。	基本的な除雪方法についてはシーズン開始時に除雪事業者への指導を行っている。また、家の並び方や道路幅員など各道路の状況により除雪方法は異なる場合が多く、統一できない部分がある。
	毎年、意見を言っているが、言うだけ無駄と思っている。	—
	道路の雪を全部家の前に置いていくから処理が大変。排雪を増やす方法を組み換えなどで考えてほしい。	道路除雪は決まった時間内に除雪するため道路の端（路肩と言う）へのかき分け堆積除雪が基本となっている。間口除雪は、個別の対応をお願いしている。排雪回数も道路種別（幅員・交通量等）により目安は決まっており、生活道路では年1～2回の予定となっている。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(5) 今年の除排雪計画について	除雪で小路から出た雪は広い道路の角などに積んでいく。きれいに取るほど置いて行かれるので排雪を増やすほか方法が無いと思う。	排雪だけを増やすのは無理な状況である。市内全域を順に回っているので途中でそこだけ増やすことはできない。
	融雪機やダンプを貸されても積み込むのが大変。燃料も出してもらえないか。	道路除雪は通行を確保するかき分け除雪が基本となっている。民地側の雪を含めすべての処理が行政ということにはならないと考えている。
	オペレーターの質、技術を上げて欲しい。腕の良い人に来てほしいので、何か育成する方法が必要ではないか。	オペレータ個々の技術は指導できる範囲以外もあり難しい部分もあるが、基本的な除雪方法についてはシーズン開始時に除雪事業者への指導を行っている。
	市ばかりに任せないで、市民も何でも道路に出して後は市が持っていくからではだめだ。行政任せにしないで、自分たちができること、協力できることはしなければだめだ。	町内会や市民の皆さんの協力は効率的な除排雪につながる。宅地内の除雪は道路敷地に雪だしをしないで、宅地内で堆雪をお願いする。
	市で一定額（１０万円程度）を町内会に出して、除雪のために使ってもらうようにしてはどうか。	市道の排雪を行う場合、ダンプ貸出制度を活用してください。
	月７万円で除雪を業者に委託している。他に住民にオペレーターをやっている人がいるので、重機を借りて排雪もしている。	—
	聞いた話だが、町内会に退職したオペレーターの人がいいて、月に千円ずつ出して、その人に草刈から除雪までお願いしているらしい。	—
	住民１７０人くらいのうち半分はお年寄りで、以前は班を決めて玄関前などの除雪をしていたが、住民で話し合い、住民で積み立てをして業者にやってもらうことにして、みんな協力してくれている。	除雪へのご理解とご協力に感謝する。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(5) 今年の除排雪計画について	雪の状況等があるのは理解するが、ゴールデンビーチの開設が遅かったので、出来るだけ早く開設できるようお願いしたい。	出来る限り早く開設できるよう準備を進める。
	公園に雪を入れることについて、市はどう考えているのか。花園公園に関しては、揉めているので、市が責任をもって捨てさせるかどうか決めてほしい。入れさせないのなら、町内会でフェンスは外さない。(重機による公園への除雪の問題。)	町内会などと打合せを行い利用しているところはあるが、逆に以前は雪入れをしていたものの夏季公園管理の支障が生じたため雪入れを閉じた公園もある。基本的に、重機使用は認めておらず、公園施設を壊さない前提で人力による小運搬は可能だと思うが、それが地域の揉め事の原因になり、町内会として閉じてほしい意向があるのであれば閉じることも検討する。
	毎年連合町内会で集まり、懇談会を開いている。	—
	除雪業者は朝早くから大変だと思うが、家の前に雪の段差が出来て、軽自動車などが走行できない。	道路除雪は決まった時間内に除雪するため道路の端(路肩)へのかき分け堆積除雪が基本となっている。間口除雪は、個別の対応をお願いしている。なお、道路の条件にもよるが、できるだけ圧雪にならないような除雪は指導している。
	市役所の担当者は、除雪状況の確認のため、巡回することになっているが、確認に来たことがない。	除雪対策室の設置期間は、毎日午前9時～12時までを基本に道路パトロールを実施しており、午後も状況に応じて適宜実施している。
	除雪業者の中には、採算の取れない場所があるので、適当に除雪をやっていると聞いた。除雪のやり方を見ていそう感じることがある。最低限、道路の真ん中を除雪するだけで、道路右側の家の前は雪が多く残り、逆に道路左側の家の前は雪が少なく残っている。市役所はそれを容認しているのか。	道路の構造や家屋の張りつき状況、除雪の方法などが各路線の状況によるため同一条件の除雪にはならないが、可能な限り均等になるように除雪しているので、そのようなケースは現地確認が必要と考える。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(5) 今年の除排雪計画について	除雪の委託業者数が不足しているのではないか。	昨年及び今年の除雪発注においては充足している。
	市の除雪計画（除雪出動基準）に基づいて除雪業者が来ることになっているが、計画通り除雪に来たことがない。	早朝に突然降りだすような降雪始めの時間が遅い場合には、出動判断の関係で入れない場合があるが、出動基準に則って除雪を行っている。
	毎年、町内会と除雪業者による打合せを実施しているが、要望を受け入れて改善されたことが一度もない。同じことの繰り返しである。	町内会との懇談会による要望に対し、可能なものは指導や改善を実施してきている。
	町内会長になると、除雪業者が入った朝は、家の前に雪を置いていくという苦情の電話が何本も入り、この対応に苦慮しているのが現状である。	道路除雪は決まった時間内に除雪するため道路の端（路肩）へのかき分け堆積除雪が基本となっている。間口除雪は、個別の対応をお願いしている。
(6) その他	昔、副港には見晴町から遊水があり、ボートで遊ぶことができた。あの辺を浄水して遊べる場所にしてはどうか。	現状は、安全に利用できる環境ではない等、水をきれいにする以外にも様々な対応が必要となり、直ちにボート等で遊ぶ施設にすることは困難であるが、将来ビジョン構築の参考とさせていただきたい。
	何十年前かわからないがアパートが火事になった後、そのままになっている。その時の町内会の窓口はどこになるのか。	空き家の担当は環境保全課となる。危険のある空き家であり、既に所有者は確認しており、適正通知を出しているが改善されていない。今後も引き続き改善を求めていく。
	公務員住宅も空き家が多くなってガラガラだ。壊して更地にしているところもあるが。	—

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(6) その他	更地にしたら税金が高くなる。ほかの所では更地にしても税金を高くしない自治体もある。こういった制度を作らないと空き家を壊す人はいないのではないか。	住宅用地に対する軽減措置は、本来、住宅建設を促進するための特例であるが、この軽減措置が空き家の解体が進まない原因の一つとなっている。 「空家等対策特別措置法」では、税制上の措置として市町村長から勧告を受けた「特定空家等」に対して、住宅用地の特例を解除できることとなっており、今後、そのような措置についても検討していきたい。
	病気になったら市立病院へ行きたいと思っているが、初診料が高く、市街地の病院へ行ってほしいと指導されているかのように思う。	初診時選定療養費とは「初期の治療は地域の医院・診療所等で、高度・専門医療は200床以上の病院で行う」という、医療機関の機能分担を推進する目的として厚生労働省により制定された制度である。これにより、医師は、本来、市立病院が提供すべき医療に余裕をもって携わることができる。これは医師の労働環境改善にも繋がるとともに専門的医療に特化して従事することからモチベーションを上げることにもなる。このことは今後も市立病院で医師に勤務し続けてもらう上で非常に重要な事である。 しかしながら、留萌市立病院以外に市内には無い診療科で、初診時から留萌市立病院を受診しなければならない診療科についても初診時選定療養費を頂いているが、現在の制度では診療科毎に初診時選定療養費を取る取らないということは出来ないことになっており、この部分についてはご理解を賜りたい。
	市の要請に応じて、5月の「留萌のまちをきれいにする週間」に町内会で取り組み、雑草を取ってきれいにし、次の日に回収のトラックが来たが、雑草の回収は7月と言われ、不愉快だった。 市の要請とおりにきれいにしたのに、持っていけないとは。特別な週間に実施しているのだから、適切な対応を指導、検討してほしい。	5月の「留萌のまちをきれいにする週間」で町内会清掃として取り組んでいただいた「雑草」については、回収できるよう検討していきたい。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(6) その他	夏の間、ゴールデンビーチで若い人たちが遊んだ後のごみの処理、モラルの問題だが、バーベキューや花火などのごみが残っており、町内でも対応しているが、市でパトロールなどできないか。 「ごみ持ち帰り」の看板もあるが、ごみが残っている。	ゴールデンビーチについては、指定管理者であるNPO法人留萌観光協会においてごみ処理も含めて管理しており、ビーチ監視員がパトロールを実施し、ごみ処理を行っている。ごみ処理については、こまめなパトロールを実施するよう指導し、快適な施設環境の維持に努めたい。
	ごみステーションが7か所くらいあるが、1か所10世帯くらいで使っているところは、ごみが溢れることがある。市も予算がないのはわかるが、必要な所には追加配置をいただきたい。	クリーンステーションの設置は、1基15世帯を想定して配置している。 収集する曜日によりごみ量の多い日があると思うが、不要なカゴを出すことやこまめな排出にご協力をお願いする。
	ふるさと納税はお返しもので魚釣りと同じだとの批判的な意見もあるが。	ふるさと納税の趣旨を踏まえた募集や返礼品の選定を行っている。
	ふるさと納税をしている人に聞くと何をくれるかは当てにしていけないと言っている。	—
	今回配られたアンケートはこれまでのアンケートと内容は同じか。	総合計画の成果指標から抜粋しているので、若干は変わっているかもしれないが基本的には毎年同じ内容である。
	同じ人が来ているが、アンケートに意味はあるのか。	経年での変化などを見るという部分も必要なので、去年とどう変わったかという点で協力をお願いしたい。
	見晴通りができて、高校が統合により千鳥にくるが、市は車の交通がどうなると考えているのか。	バス路線については、市としては住民を交えた協議会で検討しており、今後も持続できる交通体系のあり方について話し合っていきたい。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(6) その他	見晴通りとバス通りの交差の話しを今詰めるのは早いのではないか。	これから、北海道が用地測量及び道路の実施設計を行い、検討が始まる。
	町内会で公園の草刈りをして、利用がない。町内会は、年に4回も草刈りをしている。	環境美化パートナー制度により現在20公園を維持管理いただいている。町内活動の核になる街区公園を活用してほしい。
	花園公園は用途変更し、民間に払い下げるべき。デベロッパーを作れば町内会は賛成すると思うし、コンパクト化につながると思う。	街区公園として維持管理していく。
	最近、行政で行っている地産地消、地元産品の地域外への宣伝などは、大いに賛成する。商品を開発して売り出し、成果を上げるまでには時間がかかる。宣伝に行政の力を借りるのは助かるが、資源を集中してほしい。	—
	プレミアム商品券は、7割は大型店の利用で地方に持たれている。地元へ貢献があるような形にもらえる、と、すごくありがたい。	実行委員会としては、地元商店街振興組合連合会等にて販売促進イベントを実施しており、10月末現在の利用状況は大規模店以外の店舗利用が52.35%となっている。
	高砂公園は、良い公園だと思う。周りの人が利用できる、あの地区に他の公園は必要ないと思うので、他の有効活用を考えてほしい。	船場公園は、交流人口を増大させるために「まちなか」に地区公園として整備した。これからも増加させる事業を展開したい。
	元川町の交差点を何とかしてほしい。信号の待ち時間が長すぎる。前より長くなったという意見が多い。	3本の国道が合流している交差点であるが、地域の意見を聞いたうえで交差点の改良を行っている。歩行者がいない場合には待ち時間が短縮されている。

グループ別意見交換会における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(6) その他	健康の駅のトレーニング室は大変狭い。ふるも等使っていない施設もあるのではないかな。	るもい健康の駅は、市民が主体的に実施する健康づくり活動を支援し、健康に対する意識向上を図ることを目的に設置している。 意見にある箇所については、市民の健康づくり活動の実践や健康を通じた交流の場を提供するための軽運動のスペースとして設置しているものであり、トレーニング室の機能とは住み分けをしている。
	新聞に差し押さえの記事が載っているが、差し押さえをする前に足を使って対応すべきと思う。	納税については自主納付が原則だが、納期限まで納付がない場合には、電話や文書による催告を行い、臨戸徴収のほか、納税者個々の状況に合わせた納税相談の実施に努めている。しかし、資力がありながら納税されない方や相談に応じない方については、やむを得ず財産の差押えを行っている。
	危険空家について、国費で解体できるのか。危険家屋は、早めに対応すべき。きれいな環境のところは、きれいになる。	現在、国の補助で解体できる制度はなく、危険のある空き家の所有者に対しては、今後も改善を求めていく。
	介護施設問題については、入るところがない。深川に行っている人が多い。	「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、平成27年度中の開設に向けて、小規模多機能型居宅介護サービス（宿泊定員9名）と認知症対応型共同生活介護（グループホーム・定員18名）の新規整備を進めている。なお、住所地特例の適用により55名の方が、留萌市外の介護保険施設等に入所されている。